



耕心 ～夢追いかけて～

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第35号
文責 校長 川口 貴晴
令和4年1月14日(金)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



後期後半がスタートしました!



今回の冬休みは17日間と、例年よりも少し長い冬休みでした。成人の日明けの1月11日から、後期後半が無事にスタートしました。

新年最初の行事は、全校朝会でした。寒い体育館の中で、静かにしかも整然と座っている生徒の凛とした姿に、この1年間の成長の跡が実感できました。

集会では、冬休みに生徒に課していた「3つの宿題」(年末年始のお手伝い・新年のあいさつ・新年の抱負)の確認をしました。生徒の皆さんは、きちんと「3つの宿題」を達成できたでしょうか。新年の抱負などは、充実した1年を送るためにも大切なことなので、今からでもぜひ実行してほしいものです。

続いて、校長の今年の一文字(1月の一文字・月ごと、集会ごとに生徒に大切な一文字を伝えていきます)ということで「向」という文字を披露しました。

「向」は、向学心・向上心、立ち向かう、向かうところ敵なしのように使われる漢字ですので、目標をきちんと立て、努力を重ね、一歩でも前に進んでほしいという願いを込めて「向」を選びました。そして、その前進の一歩を実現するために、向き合ってほしい3つのことを話しました。「今の自分と向き合うこと」「仲間や家族と向き合うこと」「世の中の出来事と向き合うこと」の3つでした。とにかく今の自分としっかりと向き合い、自分自身を見つめ直し、新しい年に勇躍してほしいと期待しています。1・2年生は素敵な先輩になるために、3年生は進路実現を果たすために、今の自分でいいのかを問い直してほしいと話しました。次に、自分を取り巻く家族や仲間としっかりと向き合い、自分は良き友人・家族の一員であるかを見つめ直してほしいと話しました。思春期だから、反抗期だからとわがまま勝手にふるまっていないか、他者の自分に対する思いをきちんと受け止められているかなどを見つめ直してほしいと伝えました。そして最後に、今世の中で起こっていることに目を向け、しっかりとした考えをもって生活してほしいと話しました。特にコロナ禍の中で、どうあるべきかを真剣に考えてほしいと話しました。

どの生徒も真剣な眼差しで話を聴いてくれていることが実感でき、新しい年を迎え、自分なりの目標や決意をもって登校してきたのだなと嬉しく思いました。

生徒会三役(生徒会長・副会長)の任命の後、生徒指導担当からの話があり、冬休みに大きな問題がなくよかったということや後期後半の学校生活の在り方、そして、これからも気になることがあれば一人で悩んだりせず、誰でもいいので遠慮なく相談してほしいことなどが話されました。

「1日の計は朝にあり、1年の計は元旦にあり、1年の計は始業式(後期後半スタート日)にあり」です。「今から、ここから」目標に向かってしっかりと歩み出してほしいものです。



生徒会伝統継承式を行いました!



全校集会後に、旧生徒会役員から新生徒会役員への伝統継承式が行われました。最初に新旧それぞれの生徒会長からのあいさつがありました。旧生徒会長の松瀬彰博さんの退任あいさつでは、生徒会の取組についての全校生徒への感謝の言葉と新生徒会役員への激励の言葉が述べられました。新生徒会長の山内さくらさんは、このあいさつを受け、どのような学校にしていくのか、どんな取組を行うのかなどの目標を堂々と述べました。その後、書記、会計、各専門委員長および副委員長の呼名と委嘱状の交付が行われました。新生徒会役員が呼名に答える返事の力強さにやる気が満ちていました。

続いて、新旧の生徒会役員全員がステージに上がり、校旗と生徒会旗の引継ぎが行われました。私(校長)からは、吉井中が設立された昭和22年(1947年)から70年以上にわたり生徒会が創りあげてきた伝統が脈々と継承されてきた重みを感じてほしいことや、これからどうやって伝統を守り後輩に伝えていくのかといった話をしました。また、生徒には生徒会役員が一生懸命頑張っている姿を見て、しっかりと支えてほしいとも話しました。最後に旧生徒会役員のこれまでの頑張りへの感謝とこれから船出する新生徒会役員への期待を込めて、生徒・教職員全員で大きな拍手を贈りました。今更ながらではありますが、本当に学校のために一生懸命に活動し、大活躍してくれた旧生徒会でした。感謝の言葉以外に浮かばないくらいです。



「本当にありがとうございました。心から感謝しています! 今の吉井中があるのは旧生徒会の功績大です!」

令和4年 新生徒会役員 (敬称略)

会長	やまうち さくら (2-2)	
副会長	えぐち たかま 江口 宝輝 (2-2)	よしむら えりか 吉村 恵梨華 (1-2)
書記	はしもと りょうすけ 橋元 良介 (2-1)	
会計	ふくだ ゆうだい 福田 悠大 (1-1)	
専門委員会	委員長	副委員長
生活	こもだ そうま 菰田 蒼真 (2-1)	ふくだ まこと 福田 真 (1-1)
学習	かわばた はのか 川端 愛花 (2-1)	まつもと ゆうな 松本 優奈 (1-2)
保体	こんどう めぐる 近藤 盤 (2-2)	なかむら あおい 中村 碧海 (1-2)
美化	やつなみ あやと 八波 彪人 (2-1)	よしだ まゆり 吉田 彩有里 (1-1)
給食	まつお みづき 松尾 みづき (2-2)	かわちの こと 川内野 琴 (1-2)
文化	まつせ れいな 松瀬 怜奈 (2-1)	しまぎ 彩 嶋崎 彩 (1-1)

多くの善意に支えられています。

本校の教育活動は、保護者の皆様をはじめとして地域の皆様や関係者の方々などの多くの力に支えられています。最近では、図書ボランティアの方々が来校してくださるようになり、図書室を季節感のある装飾で飾りつけてくださっています。年末には、綺麗な正月飾りをしてくださり、図書室が華やかになりました。ほとんどの飾りが手作りということで、ありがたい思いでいっぱいです。本当に素敵な飾りばかりですので、皆様も本校に来られる機会がありましたら、実物をどうぞ見に来てください。紙で作った花や虎の絵などは、本当に見事なものですよ。

また、年末には三農会の皆様による、毎年恒例の「門松づくり」が行われました。当日は寒風が吹き、手がかじかむくらい寒い中にも関わらず、三名の方が来てくださり、立派な門松を完成していただきました。毎年のことで慣れておられるのか、本当に手際が良くあっという間に完成しました。門松が年を追うごとにだんだん大きくなっていると感じているのは私だけでしょうか。噂によると千々石町にある神社に飾られている巨大門松に対抗しているのではとのお話でした。

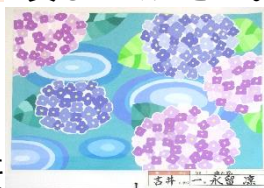
この門松づくりも三農会の方々が早い時期から集まり、竹を切ったり、飾りをつくったりと準備をしていただいていと聞きました。本当に感謝するばかりです。



2つの作品展実施中！秀作揃い



現在、島瀬美術センターで佐世保市中学校連盟書写展が開催されています。本校からも24名の作品が出品されています。16日(日)の17時までですので、本校のみならず、佐世保市内の秀作を鑑賞してください。



出展生徒については1月11日付学校からの配付文書に紹介してあります。また、本校内で佐世保市内中学校の生徒が描いたスケッチ巡回作品展も実施しています。写真みたいな風景画から幻想的なイラストや見事なデザインまで、秀作揃いの作品展となっています。18日(火)までの開催となっていますのでどうぞ足をお運びください。

永留凛さんと城優奈さんの作品

とても重要なお知らせ！

大切なお知らせを2つします。しっかり読んで確認してください。お問い合わせにも教えてあげてください。

①1月16日(日)から部活動終了時刻変更について

1月16日(日)から部活動終了時刻・完全下校時刻が変更になります。お迎え時の参考にしてください。

前半=17:00 後半=17:30 完全下校=17:45

②コロナ感染県レベルが2-I(警戒警報発令)に引き上げられたことに伴う部活動制限について

○県内外を問わず、合同での練習会・練習試合・演奏会・地域行事への参加など、他校等との交流を実施しないこと。(学校単独チームのみでの宿泊を伴う活動も不可)

○文化部活動においては、室内で生徒同士が近接距離で行う合唱や管楽器演奏は、可能な限り避けること。

○大会への参加について

①県内大会等への参加は、県の競技団体・中体連・中文連(郡市町含む)が主催・共催する公式戦への出場のみとする。

※原則、日帰りでの参加とするが、離島からの参加や、やむを得ず宿泊する必要がある場合は、感染リスクが高い、移動・飲食・入浴等の場面の感染防止対策を特に徹底し、可能な限り、普段一緒に活動している者以外との接触を避けること。

～以下省略、正式(詳細)な文書は後日配付します～

保護者さま・地域の皆さま

少々遅くなりましたが、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

吉井中は、今年も生徒ファースト、保護者・地域ファーストを校是として頑張って参りますのでどうぞよろしくお願い致します。本年もこれまでと変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

